

「ニュースリリース」

建設機械需要予測（2022年8月）

一般社団法人 日本建設機械工業会

1 概況

○2022年度については、国内は底堅く推移、輸出は続伸し、2022年度通年の出荷金額は2兆6,194億円（前年度比3%増）と予測される。

○2023年度については、国内微増、輸出も堅調に推移し、全体では3年連続の増加と予測。

主力の油圧ショベルを中心に続伸し、2023年度通年の出荷金額は、過去最高の2兆7,165億円（前年度比4%増）と予測される。

2 国内・輸出別

(1) 国内

○2022年度は、部品・部材の納入遅れが生じるものの、安定した公共投資に支えられ、前年度比横這いと予測。

- ・ 上期は、油圧ショベルが前年同期比1%、建設用クレーンが前年同期比2%減少するなど6機種が減少し、3,907億円（前年同期比1%減少）と見込まれる。
- ・ 下期は、部品・部材の納入遅れが継続するものの、安定した公共投資に支えられ、6機種が増加もしくは横這いとなり、4,740億円（前年同期比1%増）と予測される。
- ・ この結果、2022年度通年では、8,647億円（前年度比±0%）と予測される。（前回本年2月時の予測と比較して185億円下方修正となった。）

○2023年度は、安定した公共投資が継続し、微増と予測。

- ・ 上期は、7機種が増加となり、3,971億円（前年同期比2%増）と予測される。
- ・ 下期も、7機種が増加となり、4,809億円（前年同期比1%増）と予測される。
- ・ この結果、2023年度通年では、8,780億円（前年度比2%増）となり、2年振りに増加と予測される。

(2) 輸出

○2022 年度は、国内同様、部品・部材の納入遅れや物流量増加による船舶確保の問題もあるが、各国コロナ後の経済活動の活発化から、続伸すると予測。

- ・ 上期は、最主力機種である油圧ショベルが前年同期比 5%増加するなど 7 機種が増加し、8,387 億円（前年同期比 7%増）と見込まれる。
- ・ 下期は、トラクタが前年同期比 17%増加するなど 5 機種で増加し、9,160 億円（前年同期比 4%増）と予測される。
- ・ この結果、2022 年度通年では、1 兆 7,547 億円（前年度比 5%増）となり、2 年連続で増加すると見込まれる。（前回本年 2 月時の予測と比較して、747 億円上方修正となった。）

○2023 年度も、土工系機械を中心にさらに続伸すると予測。

- ・ 上期は、7 機種が増加となり、8,931 億円（前年同期比 6%増）と予測。
- ・ 下期は、6 機種が増加となり、9,454 億円（前年同期比 3%増）と予測。
- ・ この結果、2023 年度通年では、1 兆 8,385 億円（前年度比 5%増）となり、3 年連続の増加と予測される。

【需要予測結果の概要】

		2022 年度			2023 年度		
		上期見込	下期予測	合計予測	上期予測	下期予測	合計予測
国内	金額（百万円）	390,700	474,000	864,700	397,100	480,900	878,000
	前年同期比（%）	99	101	100	102	101	102
	前回予測における前年同期比（%）	102	101	102	-	-	-
輸出	金額（百万円）	838,700	916,000	1,754,700	893,100	945,400	1,838,500
	前年同期比（%）	107	104	105	106	103	105
	前回予測における前年同期比（%）	110	104	107	-	-	-
合計	金額（百万円）	1,229,400	1,390,000	2,619,400	1,290,200	1,426,300	2,716,500
	前年同期比（%）	104	103	103	105	103	104
	前回予測における前年同期比（%）	107	103	105	-	-	-

注 補給部品は含みません。

本資料は、一般社団法人日本建設機械工業会（会長 本田 博人）が、本年 7 月時点で正会員である建設機械メーカー 62 社を対象に実施した需要予測結果を取りまとめたものです。予測期間とした 2022 年度上下期と 2023 年度上下期の 4 期に関して、建設機械を 9 機種に区分し、国内出荷金額及び輸出金額をアンケート方式により予測調査をしたものであり、今回で 62 回目の調査となります。

建設機械需要予測

2022/8/25

一般社団法人日本建設機械工業会

2022年度予測

上段：金額 百万円

下段：対前年同期比指数 %

	上期見込			下期予測			年度予測		
	国内	輸出	合計	国内	輸出	合計	国内	輸出	合計
トラクタ	46,500	115,100	161,600	60,700	132,400	193,100	107,200	247,500	354,700
	98	112	108	102	117	112	100	115	110
油圧ショベル	135,600	369,100	504,700	167,200	384,300	551,500	302,800	753,400	1,056,200
	99	105	103	100	99	99	100	102	101
ミニショベル	42,100	165,800	207,900	46,600	185,200	231,800	88,700	351,000	439,700
	102	106	105	103	107	106	102	107	106
建設用クレーン	72,800	31,900	104,700	92,400	47,000	139,400	165,200	78,900	244,100
	98	112	102	99	108	102	99	110	102
道路機械	16,900	21,200	38,100	20,200	21,200	41,400	37,100	42,400	79,500
	93	121	107	96	116	105	95	118	106
コンクリート機械	16,600	400	17,000	16,600	500	17,100	33,200	900	34,100
	102	85	101	102	81	101	102	83	101
基礎機械	15,700	1,800	17,500	17,800	2,400	20,200	33,500	4,200	37,700
	97	89	96	97	90	96	97	90	96
油圧ブレーカ	11,400	5,500	16,900	13,200	6,100	19,300	24,600	11,600	36,200
	109	114	110	109	113	110	109	114	110
その他建設機械	33,100	127,900	161,000	39,300	136,900	176,200	72,400	264,800	337,200
	98	108	106	104	99	100	101	103	103
合計	390,700	838,700	1,229,400	474,000	916,000	1,390,000	864,700	1,754,700	2,619,400
	99	107	104	101	104	103	100	105	103

建設機械需要予測

2022/8/25

一般社団法人日本建設機械工業会

2023年度予測

上段：金額 百万円

下段：対前年同期比指数 %

	上期予測			下期予測			年度予測		
	国内	輸出	合計	国内	輸出	合計	国内	輸出	合計
トラクタ	47,400	123,200	170,600	63,100	131,100	194,200	110,500	254,300	364,800
	102	107	106	104	99	101	103	103	103
油圧ショベル	139,700	394,900	534,600	168,900	392,000	560,900	308,600	786,900	1,095,500
	103	107	106	101	102	102	102	104	104
ミニショベル	45,000	180,700	225,700	50,300	201,900	252,200	95,300	382,600	477,900
	107	109	109	108	109	109	107	109	109
建設用クレーン	69,900	33,200	103,100	88,700	48,900	137,600	158,600	82,100	240,700
	96	104	98	96	104	99	96	104	99
道路機械	17,200	21,600	38,800	21,200	21,600	42,800	38,400	43,200	81,600
	102	102	102	105	102	103	104	102	103
コンクリート機械	16,800	300	17,100	16,900	400	17,300	33,700	700	34,400
	101	74	101	102	74	101	102	78	101
基礎機械	14,600	1,600	16,200	17,300	2,200	19,500	31,900	3,800	35,700
	93	91	93	97	90	97	95	90	95
油圧ブレーカ	12,100	5,900	18,000	14,000	6,300	20,300	26,100	12,200	38,300
	106	108	107	106	103	105	106	105	106
その他建設機械	34,400	131,700	166,100	40,500	141,000	181,500	74,900	272,700	347,600
	104	103	103	103	103	103	103	103	103
合計	397,100	893,100	1,290,200	480,900	945,400	1,426,300	878,000	1,838,500	2,716,500
	102	106	105	101	103	103	102	105	104

一般社団法人 日本建設機械工業会 会長記者会見

— 建設機械需要予測(2022年8月公表分)—

2022年8月25日

会長 本田博人

●記者会見次第

- | | | | |
|------|---|------------------|-------------|
| 1. 開 | 会 | ： 石田広報部会長 | 11:00 |
| 2. 報 | 告 | ： 本田会長 | 11:05～11:30 |
| | | ・建設機械需要予測(出荷ベース) | |
| 3. 質 | 疑 | 応答 | 11:30～11:55 |
| 4. 閉 | 会 | ： 石田広報部会長 | 11:55 |

- ・毎年度2月、8月に公表。今回で62回目。
- ・調査対象：建機工正会員である建設機械メーカー62社
- ・調査時点：2022年7月
- ・調査対象期間：2022年度上下期と2023年度上下期の4期
- ・対象機種：9機種（トラクタ、油圧ショベル、ミニショベル、建設用クレーン、道路機械、コンクリート機械、基礎機械、油圧ブレーカ・油圧圧砕機、その他建設機械）

（次回は2023年2月22日（水）に公表予定）

1. 2022、23年度の需要予測

(1) 出荷金額ベース

- ① 年度比較
- ② 半期比較
- ③ 機種別推移(補給部品を含む)
- ④ 国内・輸出別推移

(2) 台数ベース

- ① 油圧ショベル
- ② ミニショベル

【参考数値】仕向先出荷金額

- ① 構成比推移: 2007～2021年
- ② 構成比推移: 2022年4-6月
- ③ 2007年度を100とする指数の推移

2. 会員の見方

(1) 国内需要予測の背景

- ① 公共投資
- ② 民間設備投資
- ③ 住宅投資

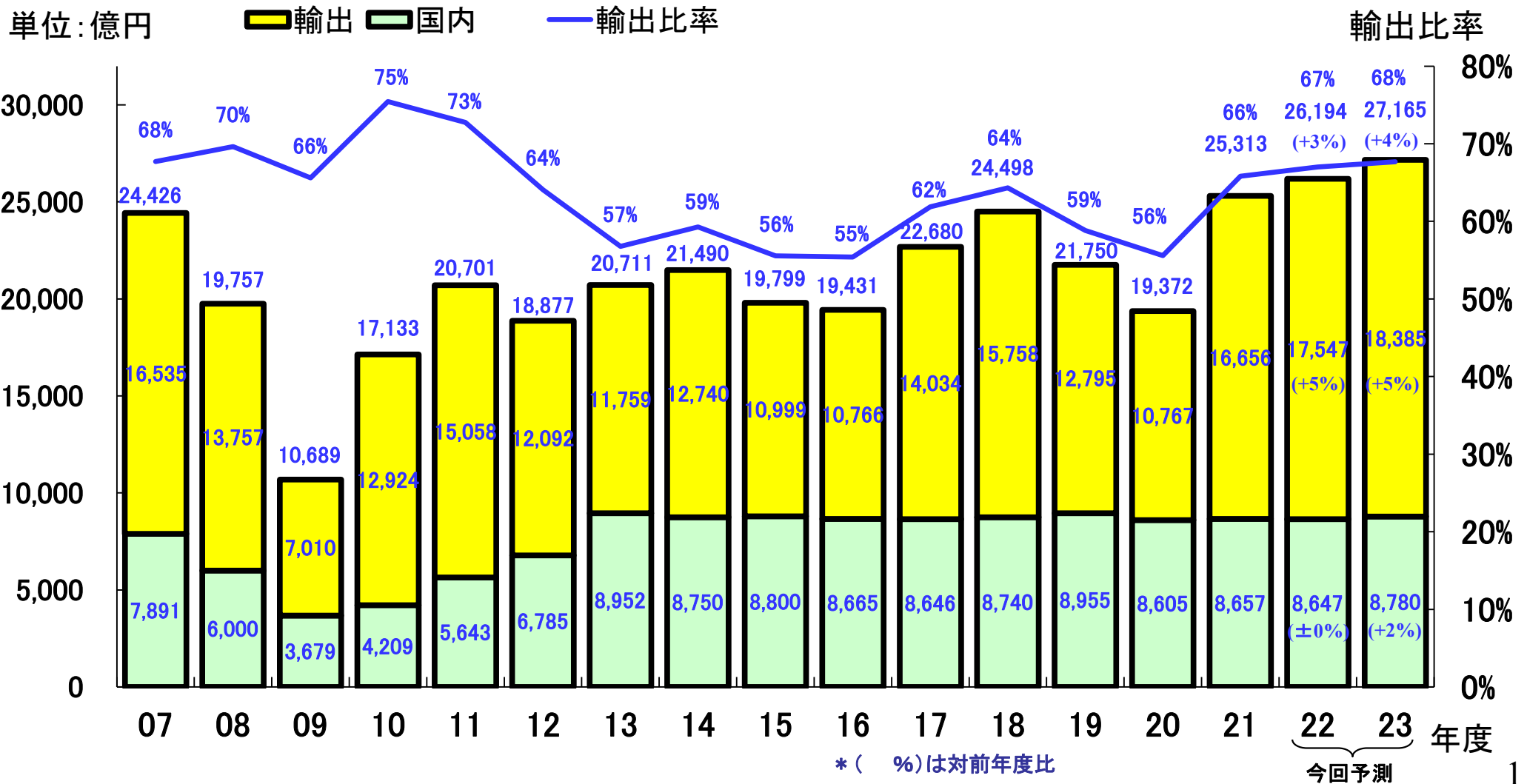
(2) 海外需要予測の背景

- ① 北米市場の動向
- ② 欧州市場の動向
- ③ 中国を除くアジア市場動向
(含むオセアニア)
- ④ 中国市場の動向

1. 2022、23年度の需要予測(1)出荷金額ベース

①年度比較

- ・22年度は国内は底堅く推移、輸出は続伸し2兆6,194億円(3%増加)と予測。
- ・23年度は国内微増、輸出は堅調に推移し、22年度を超えて過去最高の金額と予測。

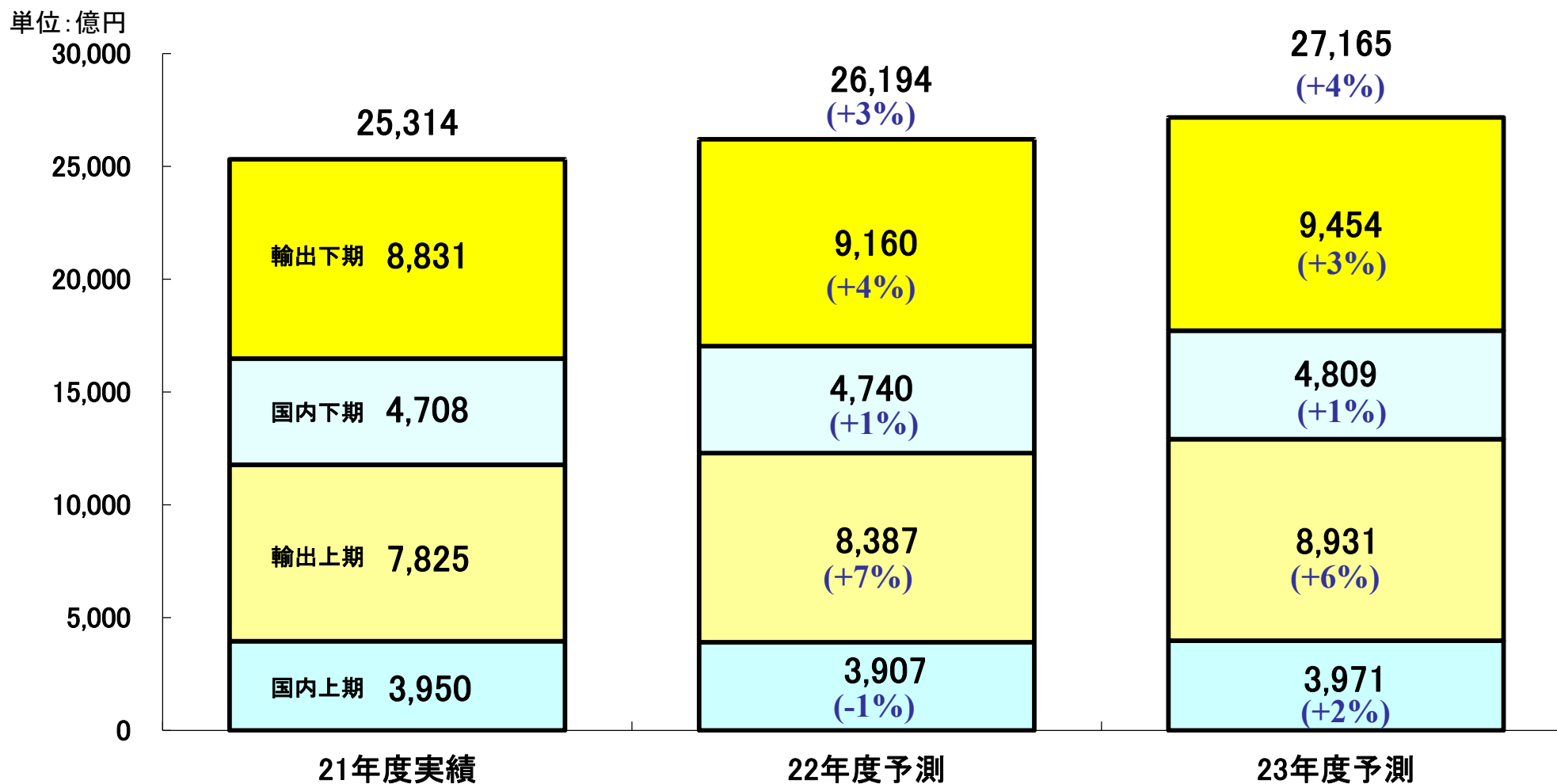


1. 2022、23年度の需要予測(1)出荷金額ベース



②半期比較

- ・22年度は国内上期微減、下期微増。輸出は上期下期共に増加。
- ・23年度は国内微増、輸出は堅調。

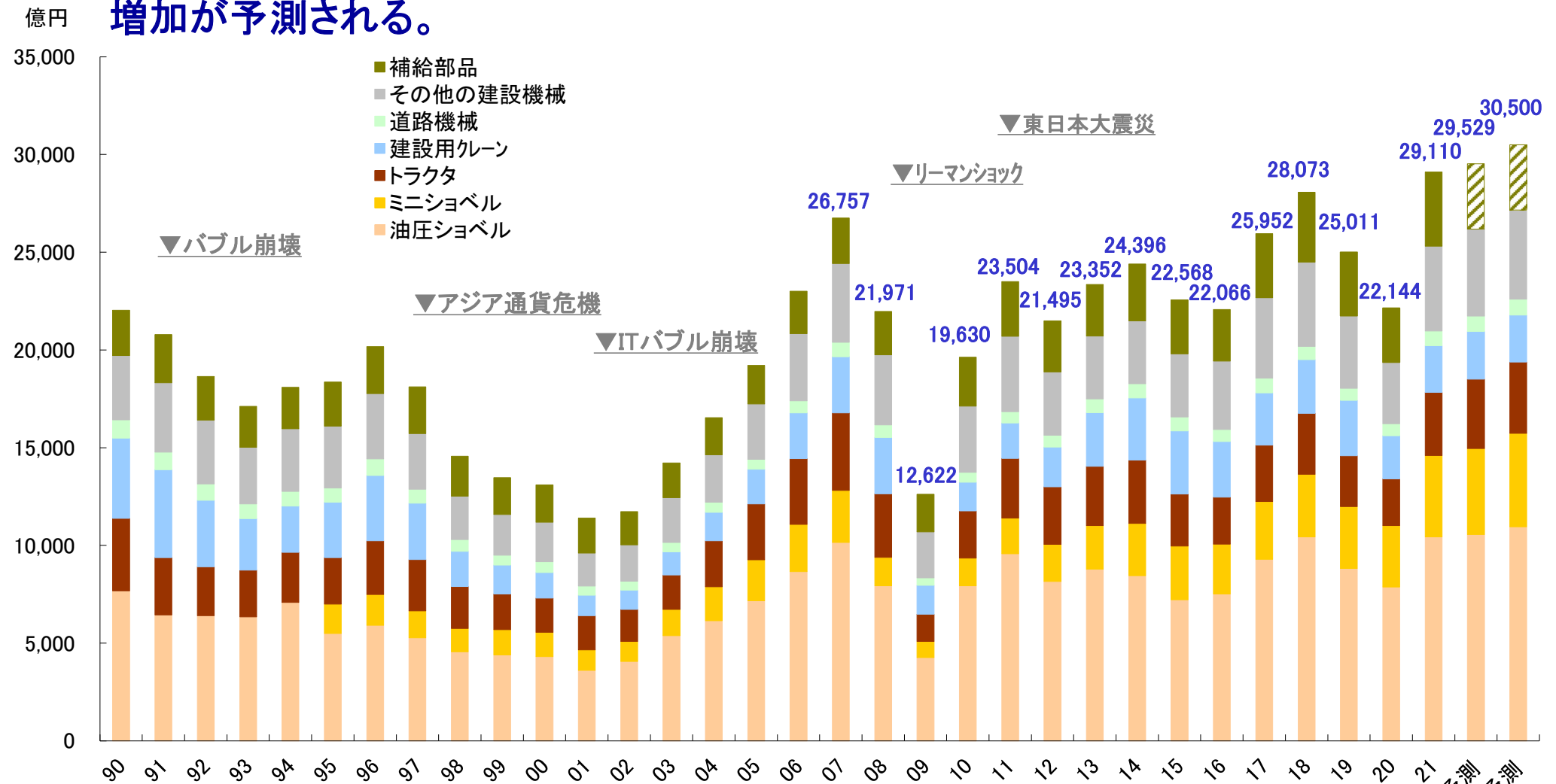


* (%)は対前年同期比

1. 2022、23年度の需要予測(1)出荷金額ベース

③機種別推移(補給部品を含む)

○22年度は基礎機械(△4%)を除き8機種全てが増加し、全体で3%の増加と予測。
 ○23年度は建設用クレーン(△1%)と基礎機械(△5%)を除き7機種が増加し、同4%の増加が予測される。



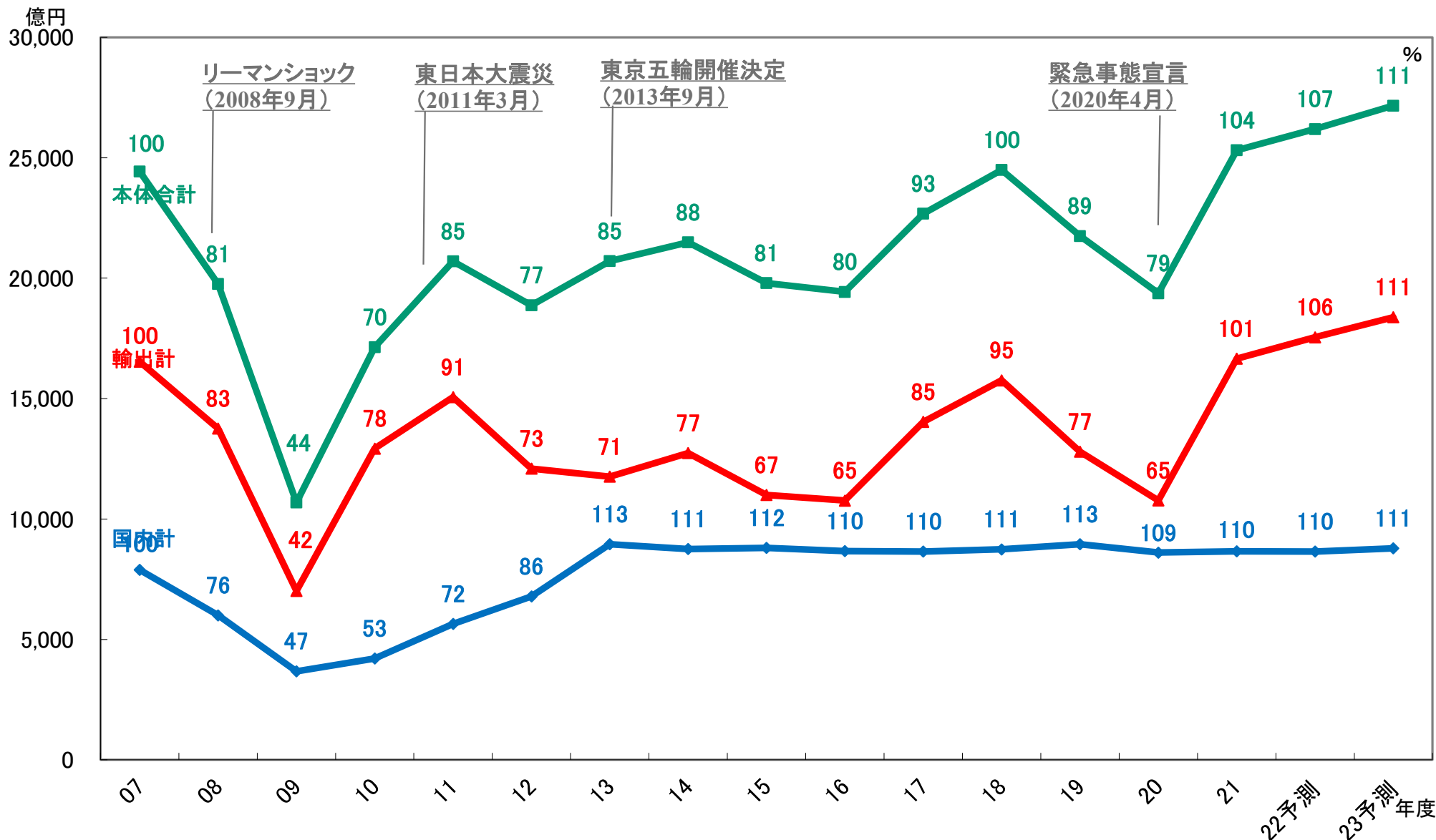
* 9機種(油圧ショベル、ミニショベル、トラクタ、建設用クレーン、道路機械、コンクリート機械、基礎機械、油圧ブレーカ圧砕機、その他建設機械)の出荷金額ベース。ただし、補給部品の21年度予測および22年度予測については、過去5年間の平均額(3,335億円)とする。

1. 2022、23年度の需要予測(1)出荷金額ベース



④国内・輸出別推移

22、23年度とも、国内は引き続き堅調、輸出は大幅に改善

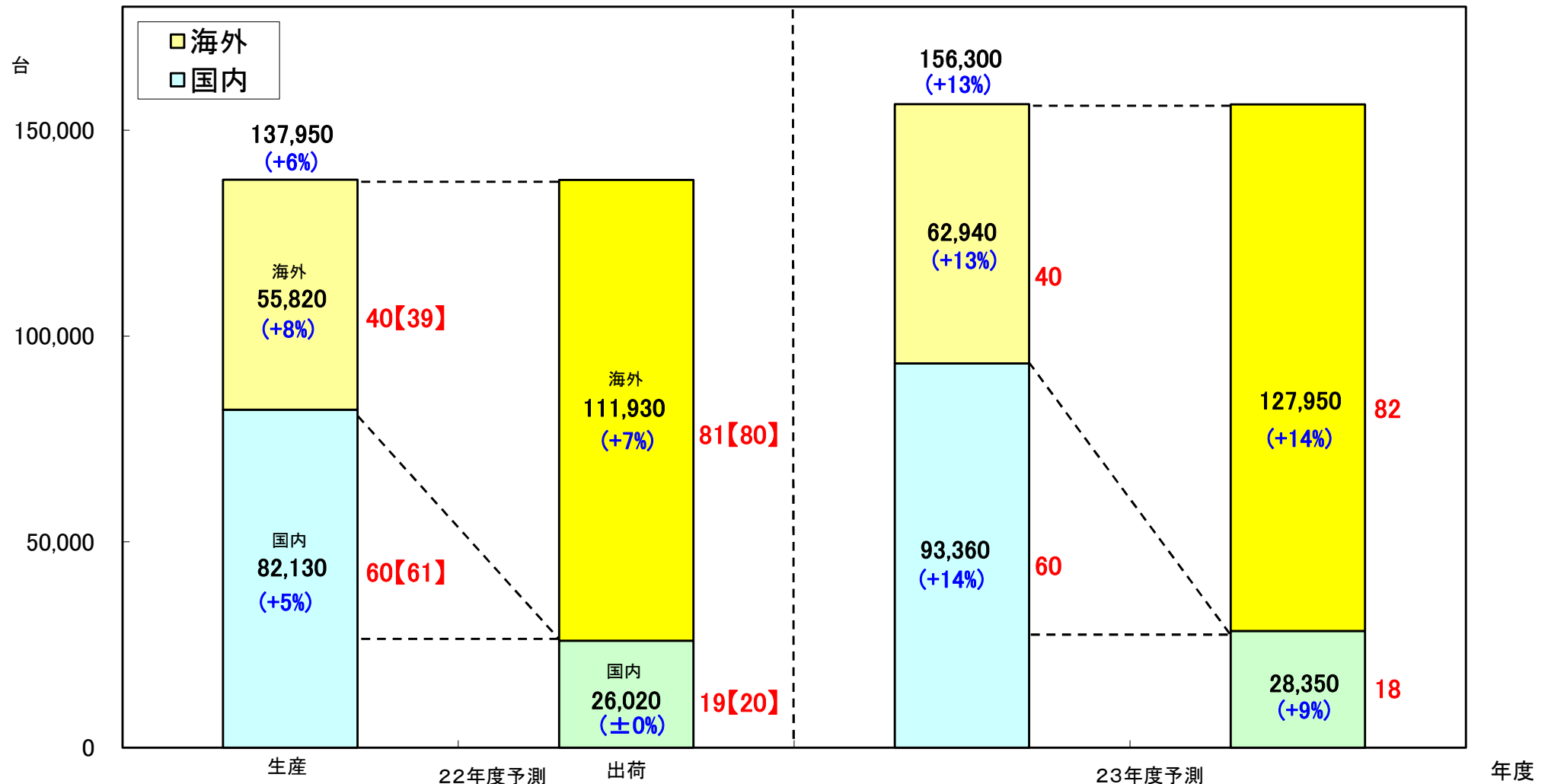


* 9機種(油圧ショベル、ミニショベル、トラクタ、建設用クレーン、道路機械、コンクリート機械、基礎機械、油圧ブレーカ圧砕機、その他建設機械)の指数(2007年出荷金額を100とする)
 出典:建機工自主統計

1. 2022、23年度の需要予測(2)台数ベース

①油圧ショベル

22年度は、国内・海外ともに生産が増加。出荷は海外が好調。
 23年度は、更に生産が増加。出荷は国内・海外ともに堅調。

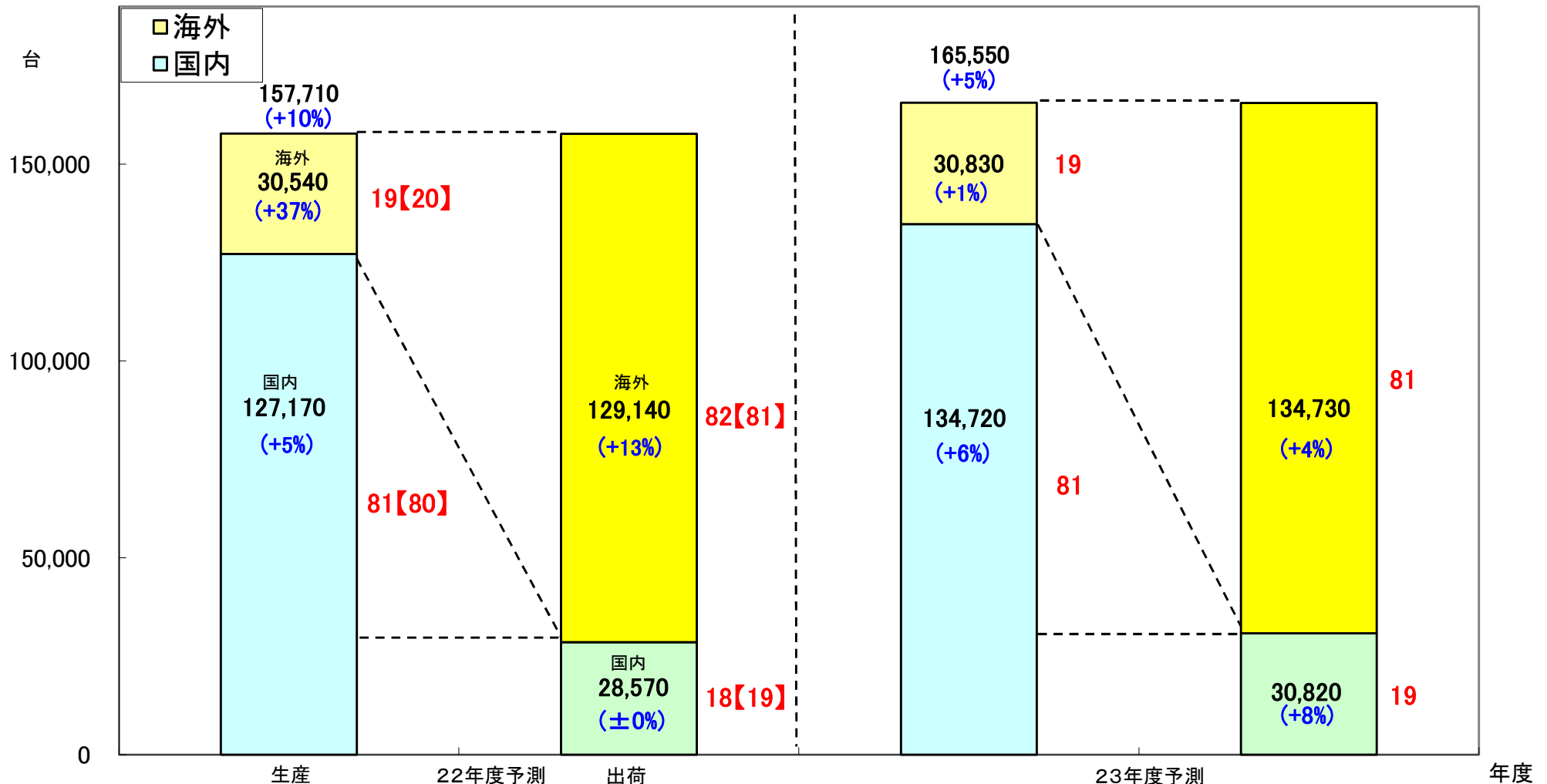


* 油圧ショベルの生産台数ベース
 * 赤字は国内海外比率。【 】内は、2月時点の見通し値 ()内は、前年度比。
 出典: 建機工調べ

1. 2022、23年度の需要予測(2)台数ベース

②ミニショベル

22年度は、海外生産が大幅に増加。出荷は海外が好調。
 23年度は、国内を中心に生産が増加。出荷は国内・海外ともに堅調。



*ミニショベルの生産台数ベース
 *赤数字は国内海外比率。【】内は、2月時点の見通し値 ()内は、前年度比。
 出典:建機工調べ

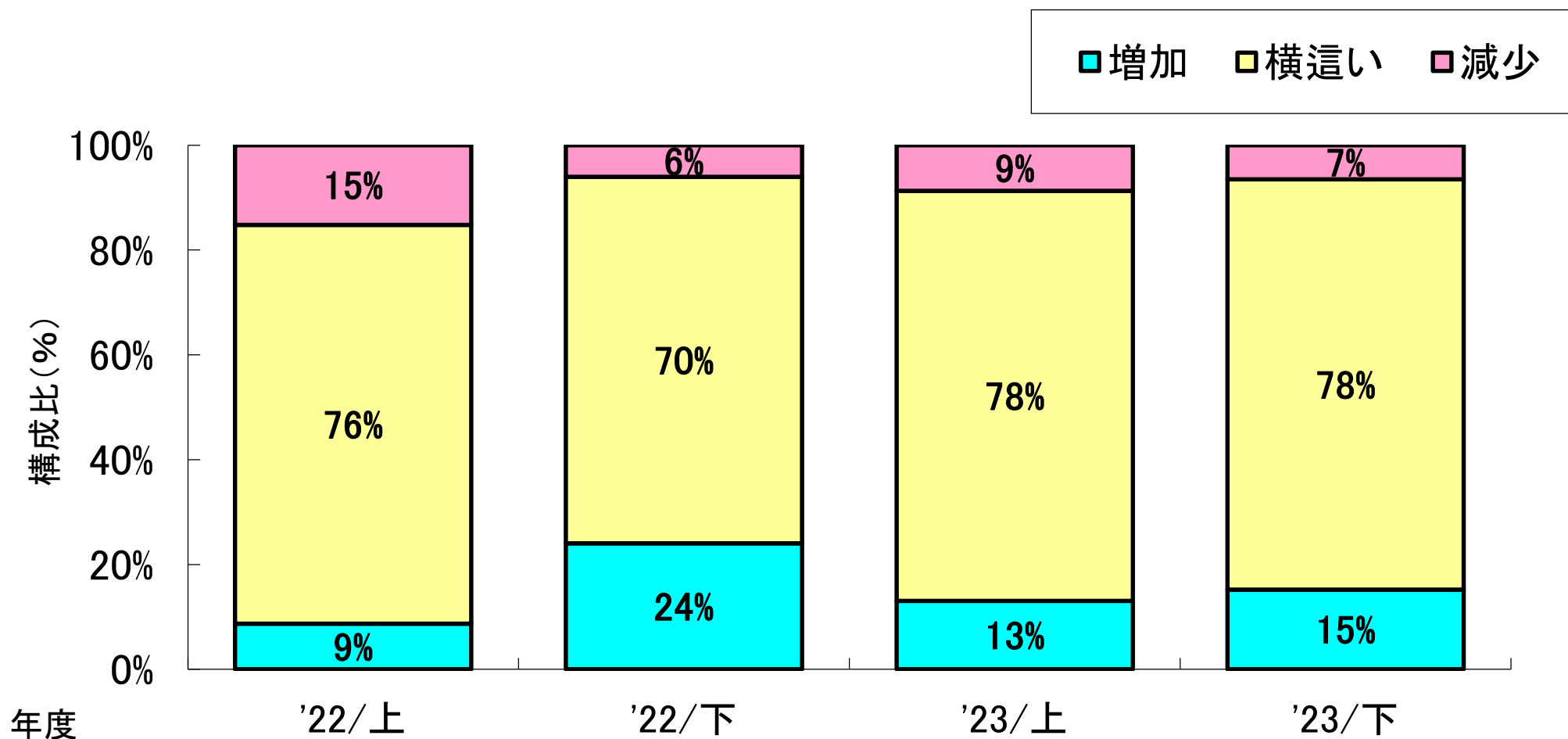
2. 会員の見方

(1) 国内需要予測の背景



① 公共投資

22年度に比べ、23年度は横這いの見方が増える。



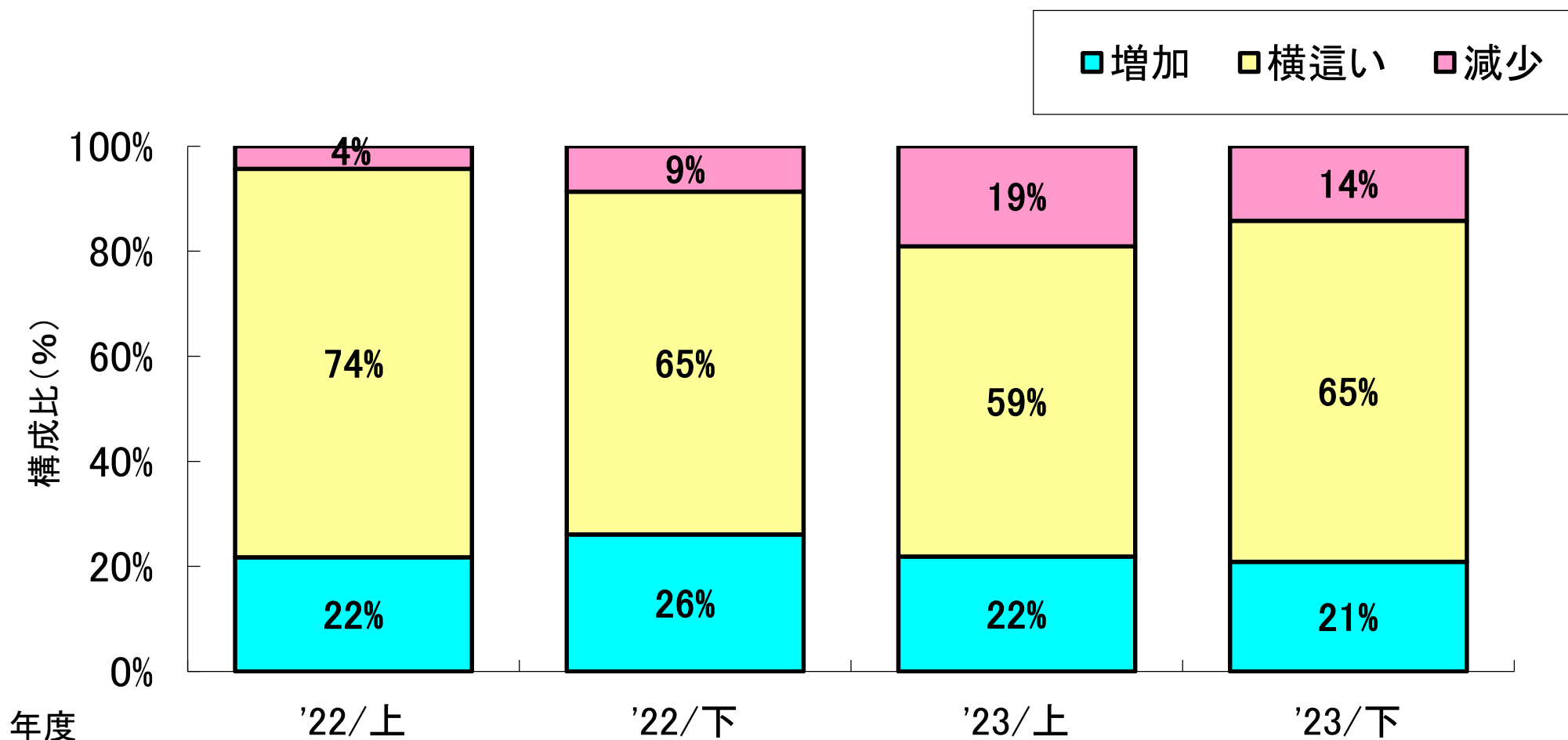
2. 会員の見方

(1) 国内需要予測の背景



② 民間設備投資

22年度、23年度を通じて2割が増加と見るも、横這いが大勢を占める。



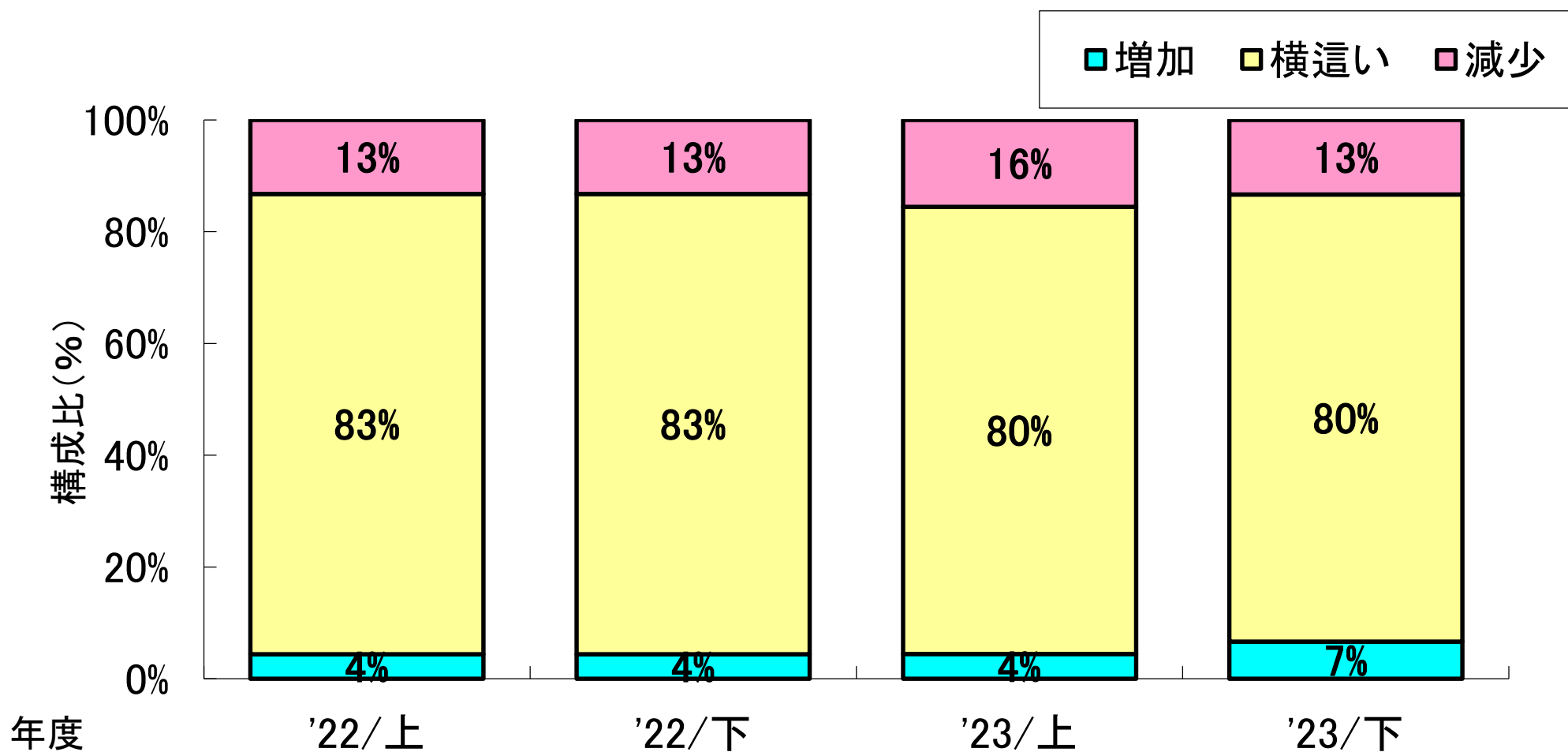
2. 会員の見方

(1) 国内需要予測の背景



③住宅投資

22年度、23年度を通じて、横這いが大勢を占める。



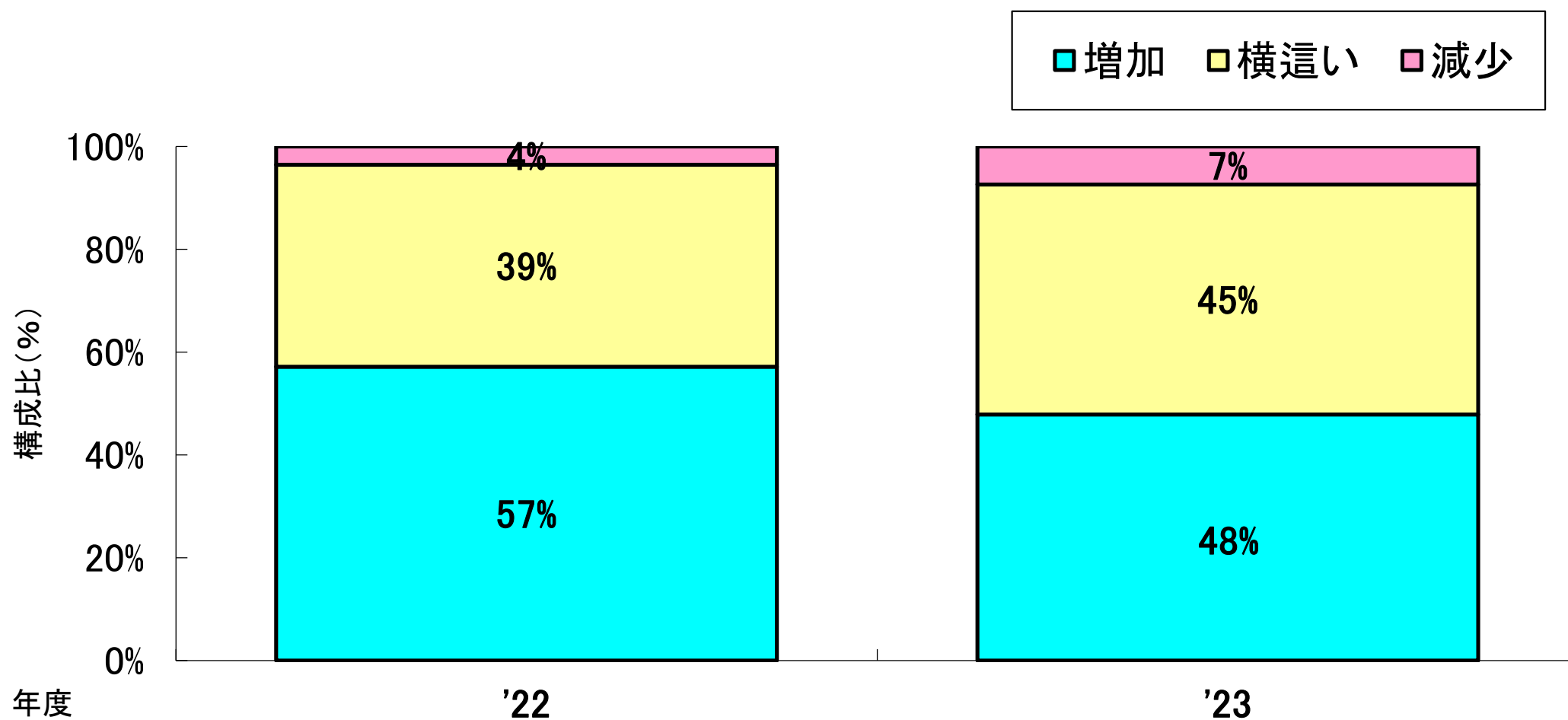
2. 会員の見方

(2) 海外需要予測の背景



① 北米市場の動向

22年度、23年度を通じて、増加の見方が多い。



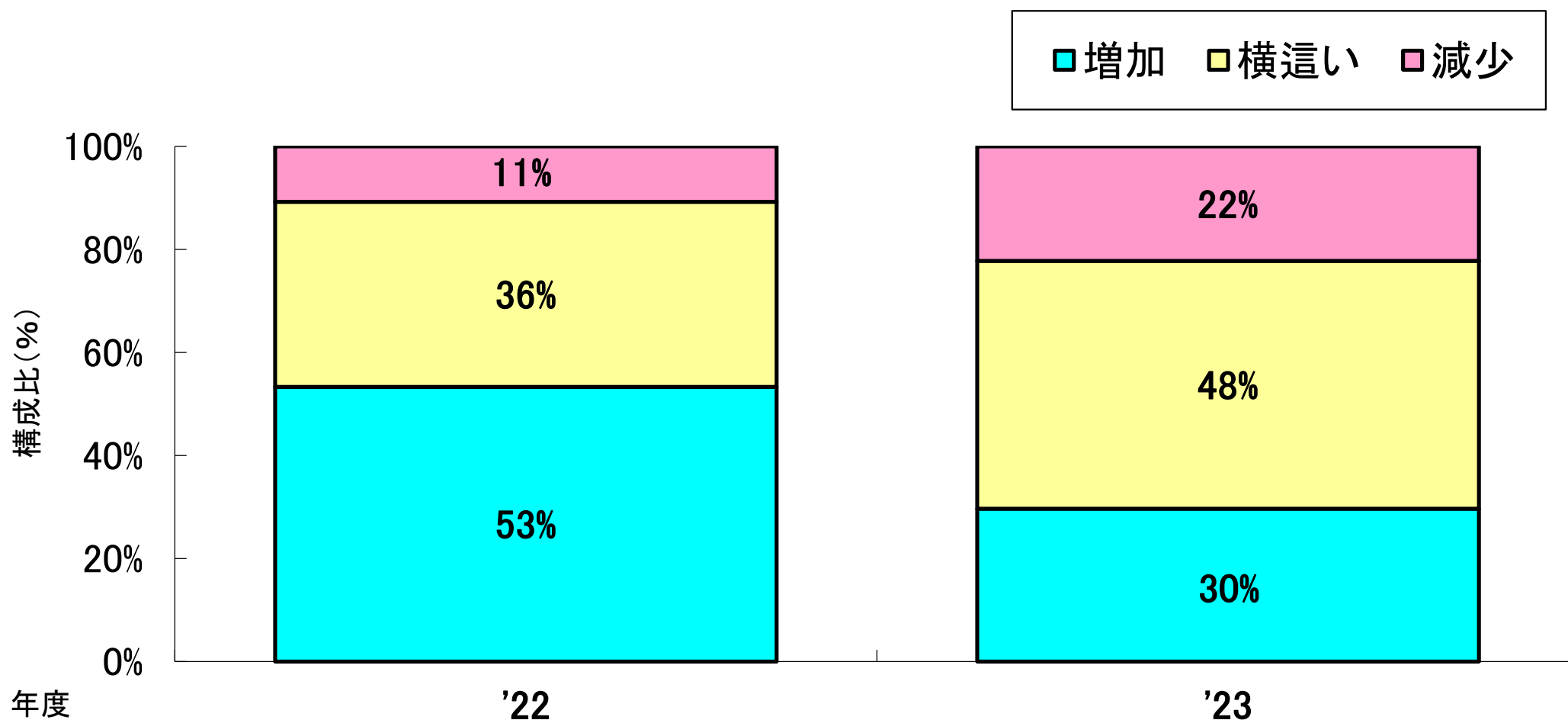
2. 会員の見方

(2) 海外需要予測の背景



② 欧州市場の動向

22年度は、増加が大勢を占める。23年度は横這いの見方が増える。



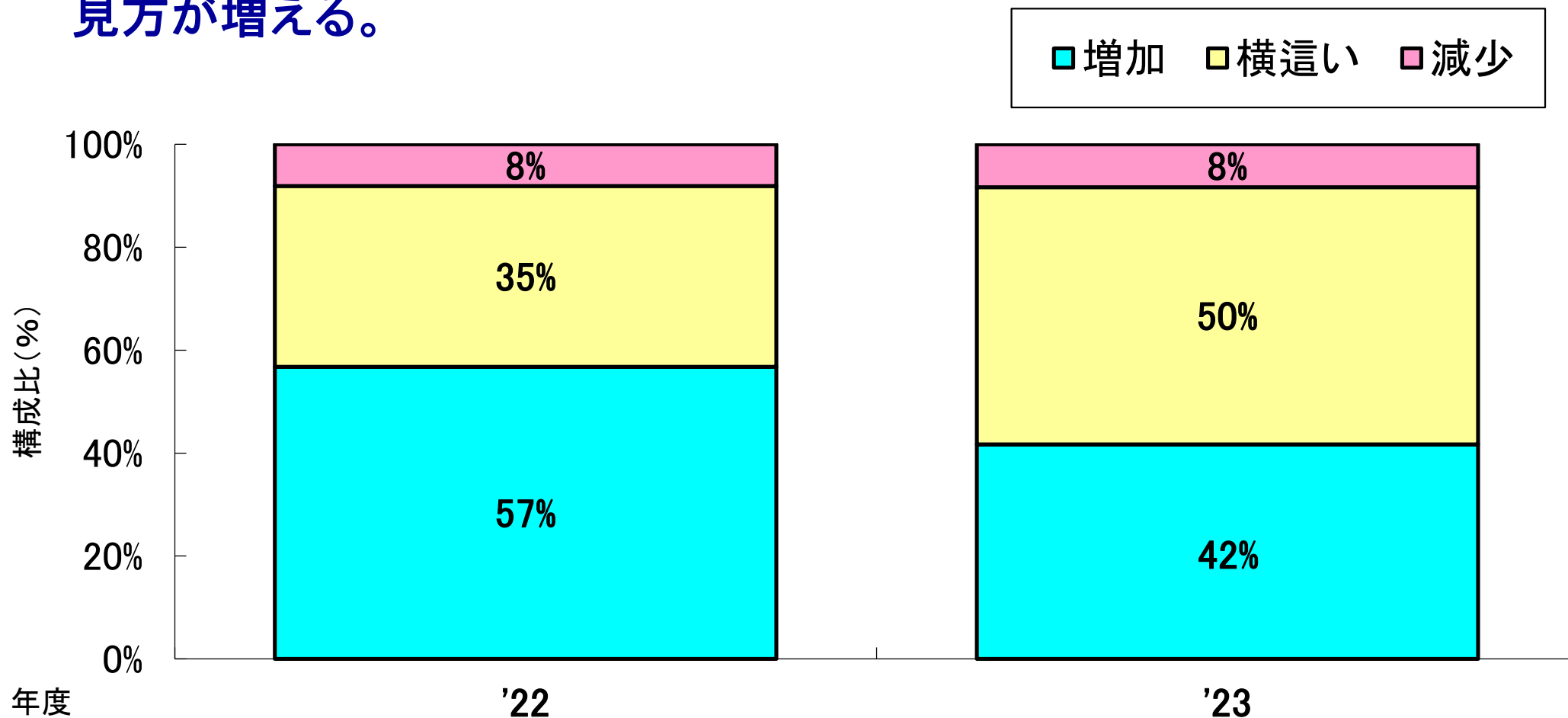
2. 会員の見方

(2) 海外需要予測の背景



③ 中国を除くアジア市場の動向（含むオセアニア）

22年度、23年度通じて増加の見方であるが、23年度は横這いの見方が増える。



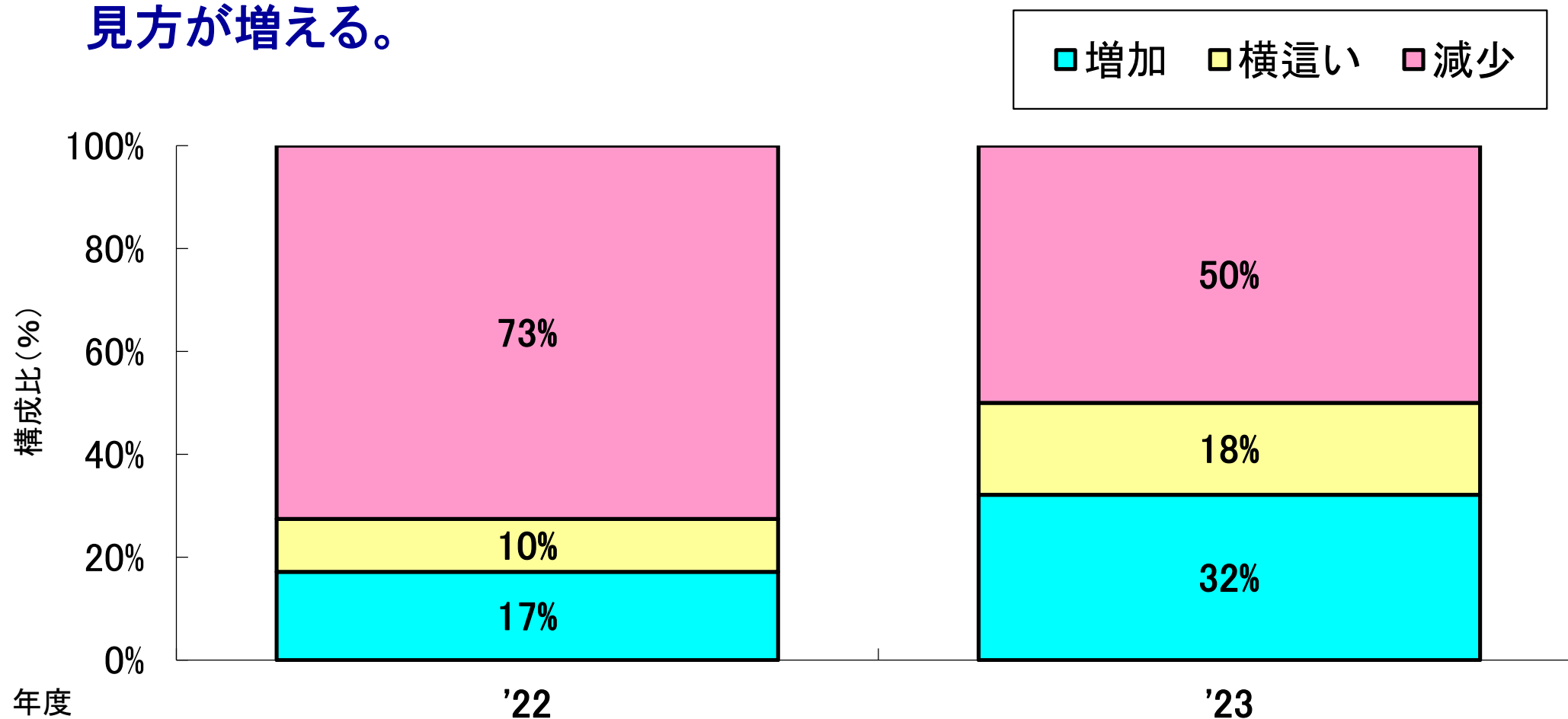
2. 会員の見方

(2) 海外需要予測の背景



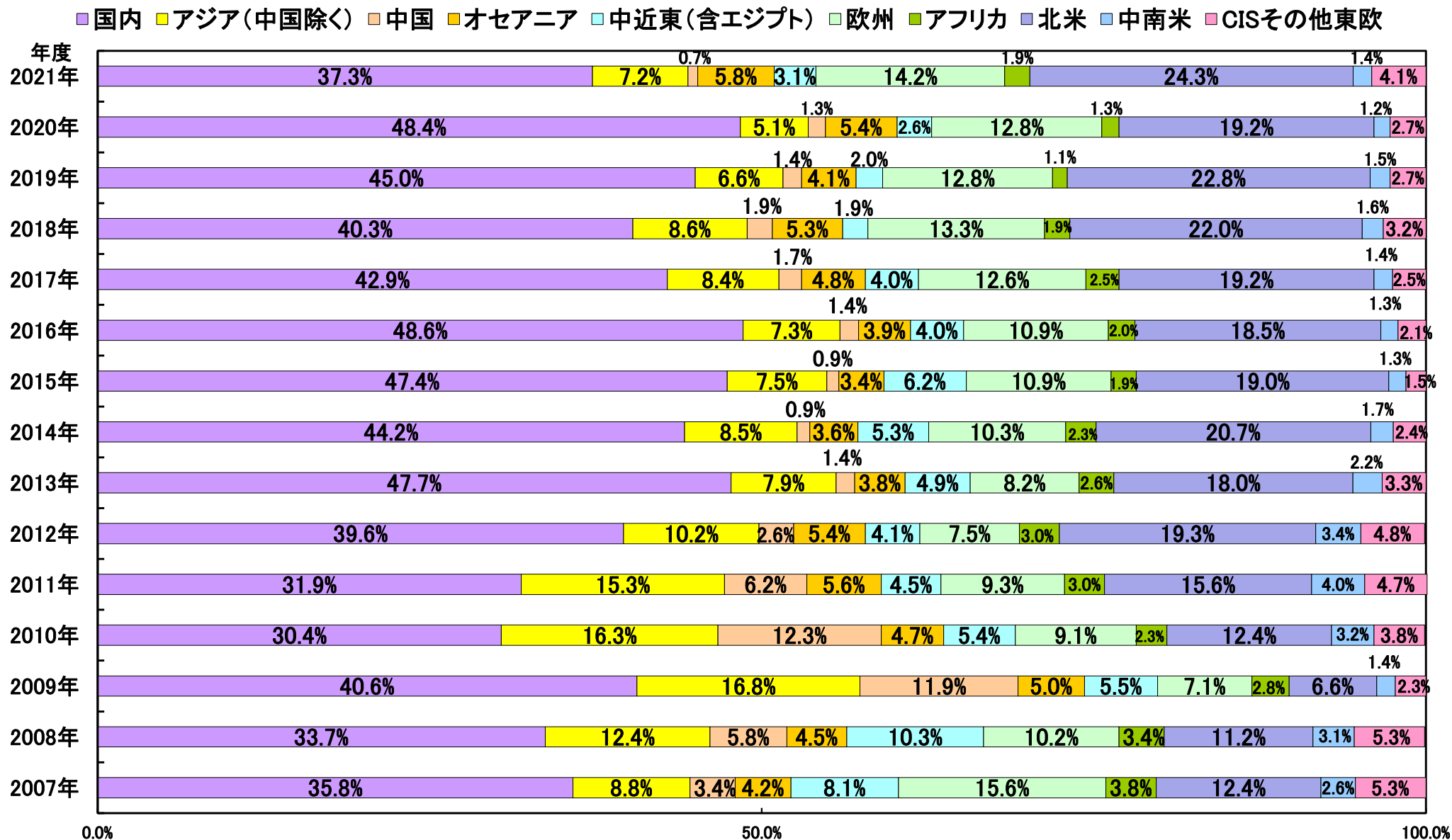
④ 中国市場の動向

22年度、23年度通じて過半が減少の見方であるが、23年度は増加の見方が増える。



【参考数値】仕向先別出荷金額

①構成比推移:2007～2021年度



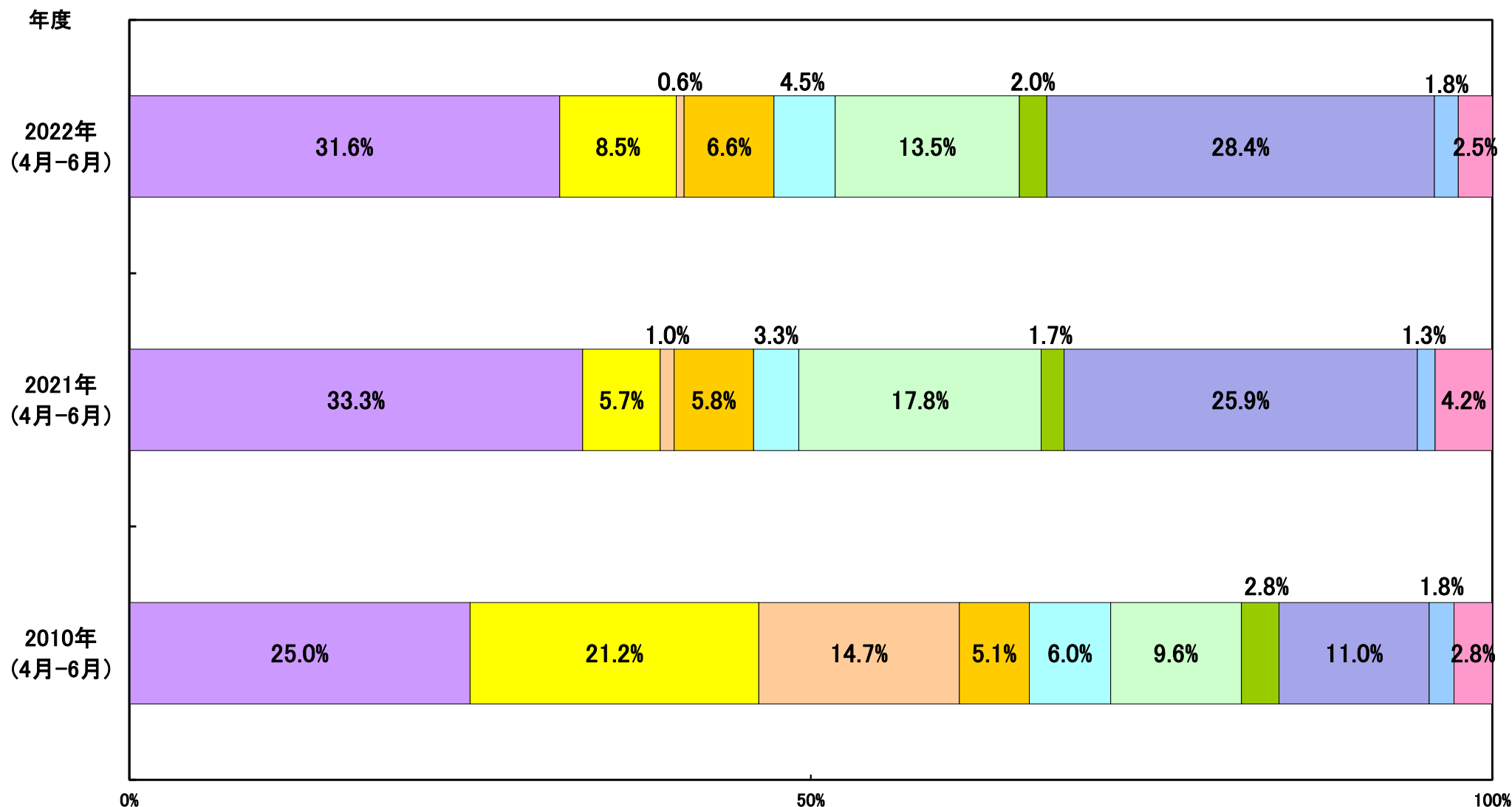
* 9機種(油圧ショベル、ミニショベル、トラクタ、建設用クレーン、道路機械、コンクリート機械、基礎機械、油圧ブレーカ圧砕機、その他建設機械)の出荷金額ベース(コンポーネント含まず)
 出典:建機工自主統計

【参考数値】仕向先別出荷金額

②構成比推移:2022年4月～6月

2021年度は国内比率高まるも、2022年度は北米・アジアの比率が大きく伸張

■国内 ■アジア(中国除く) ■中国 ■オセアニア ■中近東(含エジプト) ■欧州 ■アフリカ ■北米 ■中南米 ■CISその他東欧



* 9機種(油圧ショベル、ミニショベル、トラクタ、建設用クレーン、道路機械、コンクリート機械、基礎機械、油圧ブレーカ圧砕機、その他建設機械)の出荷金額ベース(コンポーネント含まず)

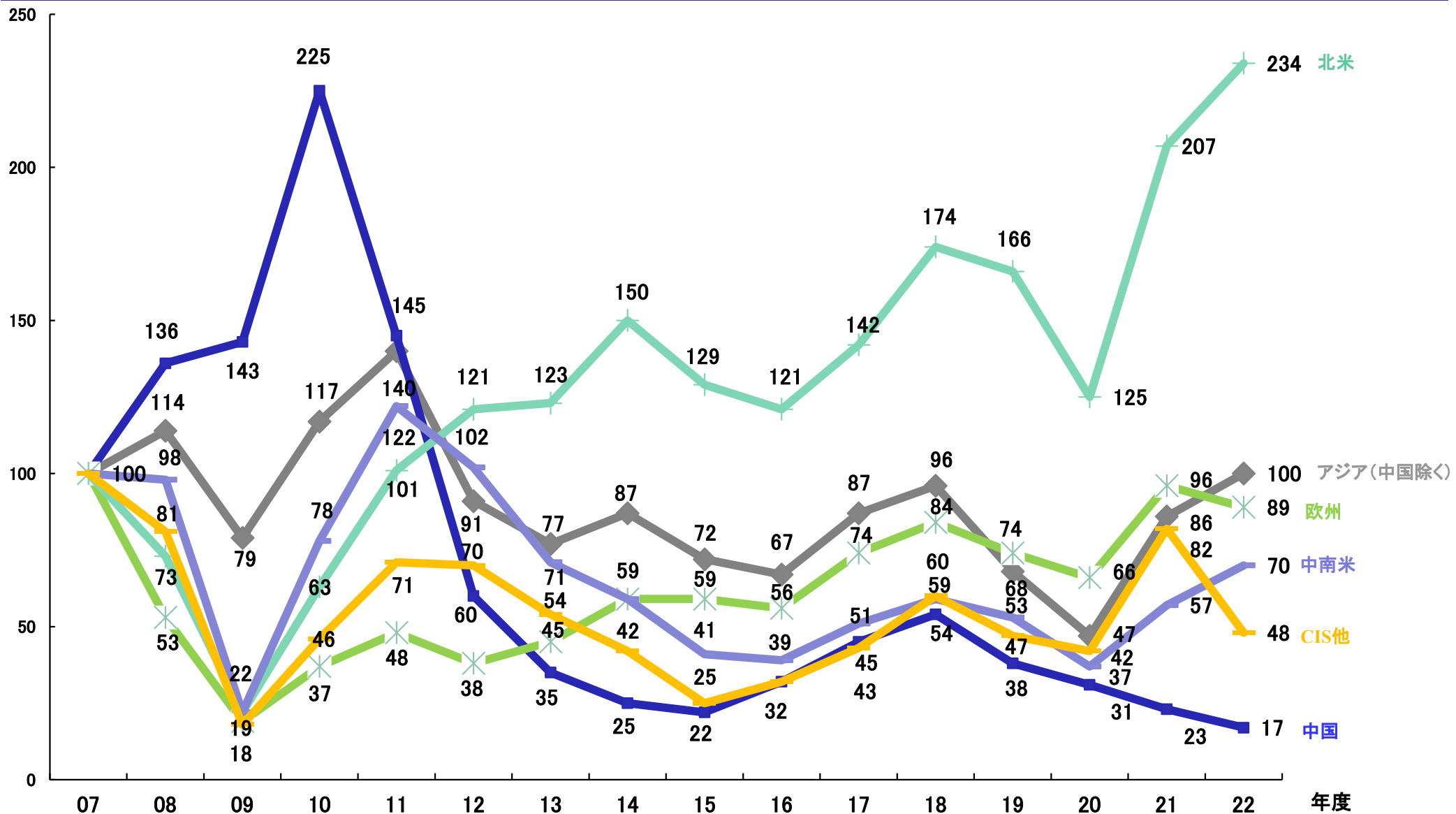
* 2010年4～6月期は中国への比率が最も高かった年度の当該期間

出典:建機工自主統計

【参考数値】仕向先別出荷金額

③2007年度を100とする指数の推移

北米向けは好調、中国向けはさらに減少へ



* 9機種(油圧ショベル、ミニショベル、トラクタ、建設用クレーン、道路機械、コンクリート機械、基礎機械、油圧ブレーカ圧砕機、その他建設機械)の出荷金額の指数(2007年出荷金額を100とする)
 注)2022年度は4~6月の仕向け先実績より予測 出典:建機工自主統計